

佐藤昭生 議会報告 1号 R3.7.20

発行：佐藤あきお後援会

豊後大野市三重町市場1910-1 TEL/FAX 0974-22-6230

梅雨が明け、暑い夏真っ盛りの季節となりました、いかがお過ごしでしょうか。初当選後の5月6日に臨時議会が招集され、議長・副議長、各委員会の構成が決まりました。私は、厚生文教常任委員会副委員長と特別委員会の議会活性化委員になりました。

また、令和3年第2回定例会が6月14日～7月6日まで開催されました。質問順のくじを引いて1番(11名中)になり、最初の一般質問を6月22日に行いました。

質問内容については裏面をご覧ください→



①新型コロナウイルスのワクチン接種について、市民の不安を少しでも和らげるには正確な情報提供が必要であることを述べ、現在の豊後大野市のワクチン接種率および国からのワクチン供給の見通しと接種完了の見込みについて質問しました。

市からは10月末の完了見込みとの回答を得たうえで、行動範囲の比較的大きい現役世代、とりわけ20代・30代の接種を進める必要があるのではないかと指摘しましたが、市は「64歳以下の接種については国から明確な指針は示されていないが、50歳以上、40歳以上、30歳以上というように10歳刻みで順次接種券を郵送する」と答えるに留まりました。

②続いて、市民サービスを停滞させないという観点からも、市役所内の感染対策徹底、とくに密の状態のままとなっている一部の職場の環境改善を求めました。

③最後に、2005年の豊後大野市の新設合併以降、地域の拠点・災害時の避難所として整備された旧町村の支所(旧役場)について、すべて本庁決裁では実際の災害時に迅速に対応できない場面が生じるのではないかと指摘し、支所への適正人員の配置・支所長の権限強化に関して市と市長の見解について質しました。

◇手探り状態での初議会でしたが、これからしっかり地に足をつけて行動してまいります。ご意見ご要望等ございましたら遠慮なくご連絡ください。

◇私の議会での所属会派は、新会派の黎明会(れいめいかい)です。会派構成は次の通りです。
黎明会(4人)、市民クラブ(4人)、創生会(4人)、政友会(2人)、緑成会(2人)、無会派(議長含む2人)

佐藤昭生 議会報告 2号 R3.10.10

発行：佐藤あきお後援会

豊後大野市三重町市場1910-1 TEL/FAX 0974-22-6230

秋冷の候、いかがお過ごしでしょうか。令和3年第3回定例会が8月30日～9月30日まで開催されました。各委員会（私は厚生文教委常任委員会と議会活性化委員会）や決算特別委員会（議長・監査委員を除く議員全員）、各常任委員会所管の事務事業評価（各2～3件）等が開催され、各委員会にて意見を述べさせて頂きました。また、一般質問も9月8日に行いました。

質問の内容については裏面をご覧ください→

【写真：夏休みラジオ体操 三重第一小にて】



①「本市における口腔保健対策の具体的な取り組み内容について」、「12歳児一人平均の虫歯本数の推移と対策について」質問しました。市からは、口腔保健対策を妊娠期から高齢期までの全てのライフステージにおいて、健康づくりの基本施策に位置付け、歯と口の健康づくりに取り組んでいる。歯科医師会など関係各所と連携して各世代への啓発に努めた結果、定期健診の受診率が向上し、とくに教育現場では食育推進、フッ化物洗口の実施、ハミガキ指導を三本柱に進めたことで、DMF歯数（永久歯の虫歯経験を表す数値）が低下したとの回答を得ましたが、依然として「12歳児一人平均の虫歯本数」が全国でも最低ランクであることを指摘し、口腔保健への関心を高めるようなメッセージの発信を求めました。

②現在、高速インターネット接続（光回線）を扱うプロバイダーがJ:COM（大分ケーブルテレコム）1社しかない市の情報通信環境について市の見解を質しました。市は他社参入の必要性は否定しませんでした。また、現在市内に無料wi-fiは、どの程度あるか。さらに、交流人口・関係人口の増加を見込んだ設置計画を尋ね、今後も、必要に応じて整備し、観光客の誘致促進や市民の利便性向上を図る。との回答を得ました。

③学童保育と作業療法士との連携事業の詳細について質問しました。本市では、学童保育の現場で発達障害のある児童の療育を作業療法士が「行政との協働」という形でサポートする先進的な取り組みが進んでいる。今後も推進・継続していくことを求めて質問を終えました。

◇今回の東京パラリンピックでは多くの事を学びました。お互いに多様性を認め合い尊重し、全ての人に居場所と出番のある共生社会の実現に向けてこれからも取り組んでまいります。

佐藤昭生 議会報告 3号 R4.1.11

発行：佐藤あきお後援会

豊後大野市三重町市場1910-1 TEL/FAX 0974-22-6230

新春の候 皆様にははますます御健勝のこととお喜び申し上げます。本年もよろしくお願いたします。

さて、令和3年第4回定例会が11月29日～12月21日まで開催されました。所属の厚生文教委常任委員会・議会活性化委員会にて意見や考えを述べさせていただきました。また、一般質問も12月8日に行いました。

一般質問の内容につきましては裏面をご覧ください→



①最初に、市役所の技術系職員（土木・建築・電気および機械）に関して、人員構成や人員確保はどうなっているか、日々更新される新技術に対応できる職員の養成・スキルアップはできているか、防災や災害対応に備えた予備調査や技術研修が行われているか、その現状について質問しました。市からは、新規採用試験を全国に広く募集する方式に改め、県との研修会を随時行っており、災害時に職員を派遣し合う協定を他自治体と結んでいるとの答弁を得ましたが、50歳以上が半数弱という年齢構成から技術系職員が将来不足するのではないかと指摘し、初級の土木技術者の採用強化と人材確保の施策を求めました。また現場で様々な職員が実地経験を積み、地元建設業者育成のための技術指導を行うことを合わせて要望しました。

②次に、市道の維持管理に関して、道路補修・舗装修繕といった作業の管理の状況と実施する際の優先順位について質問しました。道路愛護作業として地域・自治会が行っている草刈り・道路清掃作業の回数とその際の補助金の算定基準について確認したうえで、町村合併以来据え置かれている算定基準の見直しが必要ではないかと指摘しました。支障木の伐採に関する法律（民法第233条）の改正で枝を所有者に切除させられるようになったことにも触れ、市内の支障木問題の現状と改正に関する市の見解について質しましたが、市はこれまで所有者の許可なく伐採できなかったが、適切に対処していく方針であると答弁するにとどまりました。

③最後に豊後大野市の国内外の友好交流都市との関係について質問しました。コロナ禍の収束後にどのような交流を計画されているかについて質問し、なかでも国内の友好交流都市である台東区（東京都）との関係は重要であり、職員の人事交流やスポーツ少年団の交流、首都圏直下型地震による被災者受け入れなどを提案して質問を終えました。

佐藤昭生 議会報告 4号 R4.4.1

発行:佐藤あきお後援会
豊後大野市三重町市場1910-1 TEL/FAX 0974-22-6230

春暖の候 皆様にはますます御健勝のこととお喜び申し上げます。さて、令和4年第1回定例会が2月14日～3月17日まで開催され、新年度の向けての予算特別委員会(一般会計・特別会計)が開催されました。また、今議会からインターネット中継も行われようになり、録画も見られるようになりました。豊後大野市議会ホームページ→[議会中継](#)のバナーをクリックしたらご覧になれます。
3月2日に、一般質問を2項目について行いました。

内容につきましては裏面をご覧ください→



①「市管理の公用車」について、車検・点検は、市内の整備工場等に偏りがなく発注されているか、また、安全運転管理者について伺いました。車検等整備業者については、物品製造等の競争入札参加資格審査申請があった市内業者に偏りが無いよう、財政課で指定している。また、安全運転管理者について、令和3年度は、公用車を5台以上使用する本庁舎の総務統括理事及び緒方支所、大野支所、犬飼支所の各支

所長を安全運転管理者に選任している。業務用車両の安全な運転の確保と効率的な使用を図るため、車両の使用規制、鍵の保管、運転日誌の整備、運行計画、運転者の教育指導及び健康管理等の業務を行っているとの答弁がありました。

②「ぶんど大野里の旅公社」について、位置づけと現在の状況、今後の役割と方向性について伺いました。地域資源を有機的に結び付け観光資源を観光商品として造成し、観光ツーリズムを展開する組織であること。また、多様な媒体を活用した情報発信による誘客の促進や、来訪者が立ち寄りやすい場所への事務所移転等を行うことで、情報発信拠点としての機能や認知度がさらに高まることを期待している。との答弁がありました。また、もっとコミュニケーションを取ってしっかり連携してやって欲しいと要請しました。また、市長が1年半前に観光事業のシフト変更の発言をされているが、機構改革等含め取り組んで来られたことを伺ったところ、関係人口を増やす中で、今後はスポーツツーリズムが観光事業の大きな要素となる。市役所内に、地域おこし協力隊員を1名入れた「スポーツコミッション」を立ち上げ、スポーツ合宿の誘致等、官民一体となって観光事業に取り組むとの答弁がありました。その際「里の旅公社」も交え、連携して取り組むように要請し、質問を終えました。